



## 2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年8月22日

東

上場会社名 株式会社フレアス 上場取引所  
 コード番号 7062 URL http://fureasu.jp/  
 代表者 (役職名)代表取締役社長CEO (氏名)澤登 拓  
 問合せ先責任者 (役職名)財務経理部長 (氏名)関根 真一郎 (TEL)03(6632)9210  
 四半期報告書提出予定日 2022年8月22日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	1,102	7.2	0	△99.0	4	△93.7	△2	—
2022年3月期第1四半期	1,027	40.2	67	—	67	—	51	—

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 △2百万円 ( —%) 2022年3月期第1四半期 51百万円 ( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	△1.23	—
2022年3月期第1四半期	22.17	21.83

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	3,228	1,701	52.3
2022年3月期	3,390	1,718	50.4

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 1,689百万円 2022年3月期 1,709百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	10.57	10.57
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	0.00	—	10.57	10.57

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,390	15.5	37	△68.6	36	△69.4	9	△90.1	3.91
通期	5,129	22.8	154	△16.2	180	△19.3	93	△37.6	39.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2023年3月期1Q	2,352,600株	2022年3月期	2,336,600株
2023年3月期1Q	65株	2022年3月期	65株
2023年3月期1Q	2,338,381株	2022年3月期1Q	2,333,239株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を受けているものの、新規感染者数の減少及び感染予防策を講じた外出規制の緩和に伴い、緩やかな回復傾向にありました。しかしながら、ウクライナ情勢の影響による原材料価格、原油価格の更なる上昇、金融資本市場の変動など、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが属する在宅マッサージ業界及び訪問看護業界におきましては、少子高齢化が加速する一方で、医療機関における病床数の減少が見込まれるとともに、特別養護老人ホーム等の介護施設の待機者数は、年々増加傾向にあり、政府による地域包括ケアシステムの構築の推進活動と相俟って、在宅療養の重要性がますます高まってきております。

このような状況のもと、当社グループが訪問してサービス提供する対象の一部には介護施設が含まれておりますが、新規感染者数の減少に伴い施設への立ち入り制限が減少したため、施術回数が増加しております。

また、団塊の世代が75歳以上の後期高齢者に達する2025年頃には、国民の3人に1人が65歳以上の高齢者、5人に1人が75歳以上の後期高齢者になるといういわゆる「2025年問題」の到来が見込まれる環境下において、介護施設等の法人営業を強化することによるサービス利用者のさらなる増大を通じて、「2025年問題」の解決企業として当社グループが事業を遂行していくことを実現すべく、2022年3月より新規事業である看護小規模多機能型居宅介護事業を開始いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,102,099千円（前年同四半期比7.2%増）、営業利益は679千円（前年同四半期比99.0%減）、経常利益は4,246千円（前年同四半期比93.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純損失は2,870千円（前年同四半期純利益51,719千円）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

#### ① マッサージ直営事業

マッサージ直営事業では、新型コロナウイルス第6波による行動制限策の緩和に伴い、介護施設に向けてサービスの再開を訴求してまいりました。また、サービス休止中に筋麻痺や関節拘縮といった症状が進んでしまった利用者に対して、日常生活動作能力（ADL能力）の向上を目的として、従前よりも高頻度なサービス提供を提案することで、サービス提供回数の増加に取り組んでまいりました。また、介護施設への営業を強化する等、引き続き当社グループのサービスの認知度向上を図ってまいりました。当第1四半期連結累計期間においては、売上高は引き続き新型コロナウイルスの影響もある中、微増となりましたが、一方で今後の成長に向けた新卒社員の入社に伴う人件費及び研修費用が発生するなどした結果、増収減益となりました。

以上の結果、売上高は814,982千円（前年同四半期比1.3%増）、セグメント利益は187,950千円（前年同四半期比5.5%減）となりました。

#### ② マッサージフランチャイズ事業

マッサージフランチャイズ事業は、フランチャイズ加入時の投資額を抑えた新プランの提供を開始したこと等で「フレアス在宅マッサージ」フランチャイズの新規加盟数が14件あり、当第1四半期連結累計期間末における加盟店数は278拠点（前年同四半期末比16.8%増）となりました。

加盟店からのロイヤリティ収入等が増加した一方で、フランチャイズ開発体制の強化のため本部の人員増加等を行った結果、増収減益となりました。

以上の結果、売上高は155,554千円（前年同四半期比11.7%増）、セグメント利益は37,465千円（前年同四半期比16.5%減）となりました。

#### ③ その他の事業

その他の事業セグメントに含まれる主な事業である訪問看護事業は、新型コロナウイルス感染拡大による大きな影響はなく、地域のケアマネジャーに対する営業の強化及びマッサージ直営事業拠点との共同営業を推進する

ことで、当社グループのサービスの認知活動を推進してまいりました。訪問看護及び訪問介護事業の拠点数については、新規出店、事業譲渡等により11拠点（前年同四半期末比37.5%増）となりました。看護小規模多機能型居宅介護事業の新規開設に向けた先行費用が発生し、セグメント損失が増加いたしました。

以上の結果、売上高は131,562千円（前年同四半期比57.1%増）、セグメント損失は25,407千円（前年同四半期比161.4%増）となりました。

## （2）財政状態に関する説明

### （資産）

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、2,429,504千円（前期比6.6%減）となりました。主な内訳は、現金及び預金が868,703千円（前期比28.5%減）であります。

また、固定資産は、799,063千円（前期比1.2%増）となりました。主な内訳は、のれんが229,002千円（前期比2.5%減）、契約関連無形資産が251,923千円（前期比2.2%減）及び投資その他の資産が112,095千円（前期比2.8%増）であります。

この結果、総資産は3,228,567千円（前期比4.8%減）となりました。

### （負債）

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は740,643千円（前期比10.9%減）となりました。主な内訳は、1年内返済予定の長期借入金が267,845千円（前期比8.5%減）、未払法人税等が8,915千円（前期比92.0%減）であります。

また、固定負債は786,019千円（前期比6.5%減）となりました。主な内訳は、長期借入金が542,992千円（前期比9.9%減）であります。

この結果、負債合計は1,526,662千円（前期比8.7%減）となりました。

### （純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は1,701,905千円（前期比1.0%減）となりました。主な内訳は、利益剰余金が1,108,144千円（前期比2.4%減）であります。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第1四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、2022年5月13日公表の2022年3月期決算短信に記載した業績予想に変更はありません。

今後、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,214,521	868,703
売掛金	953,786	1,058,872
貯蔵品	8,477	8,581
立替金	379,053	442,559
その他	46,367	52,582
貸倒引当金	△1,568	△1,794
流動資産合計	2,600,637	2,429,504
固定資産		
有形固定資産	138,612	139,726
無形固定資産		
のれん	234,820	229,002
契約関連無形資産	257,692	251,923
その他	49,544	66,316
無形固定資産合計	542,056	547,242
投資その他の資産	109,053	112,095
固定資産合計	789,722	799,063
資産合計	3,390,360	3,228,567
<b>負債の部</b>		
流動負債		
1年内償還予定の社債	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	292,854	267,845
未払金	125,598	167,723
未払法人税等	111,509	8,915
賞与引当金	57,943	29,657
その他	142,997	166,502
流動負債合計	830,902	740,643
固定負債		
長期借入金	602,497	542,992
退職給付に係る負債	26,425	27,519
繰延税金負債	89,393	87,392
その他	122,206	128,115
固定負債合計	840,522	786,019
負債合計	1,671,424	1,526,662

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	291,924	295,722
資本剰余金	281,924	285,722
利益剰余金	1,135,711	1,108,144
自己株式	△70	△70
株主資本合計	1,709,490	1,689,519
新株予約権	9,444	12,386
純資産合計	1,718,935	1,701,905
負債純資産合計	3,390,360	3,228,567

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	1,027,817	1,102,099
売上原価	515,683	557,808
売上総利益	512,134	544,290
販売費及び一般管理費	444,824	543,611
営業利益	67,310	679
営業外収益		
助成金収入	551	69
違約金収入	1,266	4,677
その他	984	702
営業外収益合計	2,802	5,449
営業外費用		
支払利息	1,765	1,505
その他	1,084	375
営業外費用合計	2,850	1,881
経常利益	67,262	4,246
特別利益		
事業譲渡益	12,971	—
特別利益合計	12,971	—
税金等調整前四半期純利益	80,234	4,246
法人税、住民税及び事業税	18,954	2,789
法人税等調整額	9,560	4,327
法人税等合計	28,514	7,116
四半期純利益又は四半期純損失(△)	51,719	△2,870
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	51,719	△2,870



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	51,719	△2,870
四半期包括利益	51,719	△2,870
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	51,719	△2,870

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

## 1. 配当金支払額

該当事項はありません。

## 2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

## 1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2022年6月28日 定時株主総会	普通株式	24,697	10.57	2022年3月31日	2022年6月29日	利益剰余金

## 2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する会計上の見積りについて)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響については、今後の収束時期等を正確に予測することは困難な状況にあります。当社グループでは、同感染症については、2023年3月期の下記以降は収束に向かい、社会活動や経済活動への影響も緩やかに回復していくものと仮定し、固定資産の減損及び繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積り及び判定を行っております。

なお、同感染症の収束時期やその経済環境への影響等が上記仮定と乖離する場合には、当社グループの財政状態及び経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	マッサージ 直営	マッサージ フランチャイズ	計			
売上高						
外部顧客への売上高	804,798	139,267	944,066	83,751	—	1,027,817
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	804,798	139,267	944,066	83,751	—	1,027,817
セグメント利益又は損失 (△)	198,802	44,893	243,695	△9,717	△166,667	67,310

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、訪問看護・訪問介護・居宅介護支援事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結 財務諸表 計上額 (注)3
	マッサージ 直営	マッサージ フランチャイズ	計			
売上高						
外部顧客への売上高	814,982	155,554	970,536	131,562	—	1,102,099
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	814,982	155,554	970,536	131,562	—	1,102,099
セグメント利益又は損失 (△)	187,950	37,465	225,415	△25,407	△199,329	679

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、看護小規模多機能居宅介護・訪問看護・訪問介護・居宅介護支援事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。